

- 令和5年7月21日（金）13：30～16：00 山梨県立文学館 講堂で開催
- 参加者 会場：207人 Web：118人（最大時）
- 挨拶 山梨県知事、国土交通省 関東地方整備局長
- 基調講演 新潟大学危機管理本部危機管理センター 田村教授「ヒト・モノの災害時連携を考える～災害事例に基づく応援受援のあり方～」
- パネルディスカッション『関東大震災100年に学ぶ山梨県における地震防災～大規模地震から命を守る「連携・実践・わがこと化」～』

主催：山梨県 甲府地方気象台
甲府河川国道事務所
後援：一般社団法人 山梨県建設業協会
山梨日日新聞社、山梨放送

■開催状況



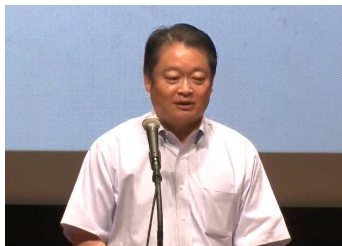
受付状況

会場状況



展示状況

■挨拶



山梨県 長崎知事
「山梨県においても防災・減災の対策をしてまいりたい。我が身を守る、願わくば回りの大切な人を守ることを意識して災害に向き合う必要がある。」



関東地方整備局 藤巻局長
「火事場の馬鹿力はない。普段から実施していること、自然にできることが災害時に生きてくる。わがこと化を意識いただきたい。」

■基調講演

「ヒト・モノの災害時連携を考える

～災害事例に基づく応援受援のあり方～

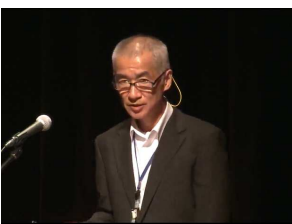
新潟大学危機管理本部危機管理センター田村圭子教授



- 応援受援のポイント
- ・ 応援受援を災害対応の業務として位置づける
 - ・ 応援側、受援側の体制を確立する
 - ・ 応援受援のための拠点を整備する
 - ・ 応援受援を実施する対応班を本部に設置する
 - ・ 対応班が人的物的資源のとりまとめ・全体像把握・調整を実施する
 - ・ 応援受援訓練を実施する

■事例紹介

「山梨県における過去の災害」



気象庁甲府地方気象台 松川次長

- 山梨県に影響を及ぼした地震災害について紹介
- 南海トラフ・相模トラフは、山梨県に影響を与える

「大規模地震への備えについて」



山梨県防災局 防災危機管理課 伊藤課長

- 山梨県で公表した地震被害想定を紹介
- 被害想定調査は山梨県に影響が想定される主な地震を対象としている皆様に備えて頂きたいことを紹介

■パネルディスカッション



パネルディスカッションの様子



秦准教授



山下代表



田村教授



菅原市長



留守事務所長

『関東大震災100年に学ぶ山梨県における地震防災

～大規模地震から命を守る「連携・実践・わがこと化」～』

コーディネーター

◇新潟大学 危機管理本部危機管理センター 田村 圭子 教授

パネラー

- ◇宮城県 気仙沼市 菅原 茂 市長
- ◇山梨大学地域防災・マネジメント研究センター 秦 康範 准教授
- ◇NPO法人 災害・防災ボランティア未来会 山下 博史 代表
- ◇関東地方整備局 甲府河川国道事務所 留守 洋平 事務所長

パネリストからのメッセージ

- ・ 菅原市長：災害支援はお互いさま
- ・ 秦准教授：災害は必ず来る！
- ・ 山下代表：それぞれの立場で意識・知識・物/者の備え「備えあれば憂い減る」
- ・ 留守所長：平時の準備と災害時の連携
- ・ 田村教授：パネリストのメッセージを絵にかいた“モチ”にしない